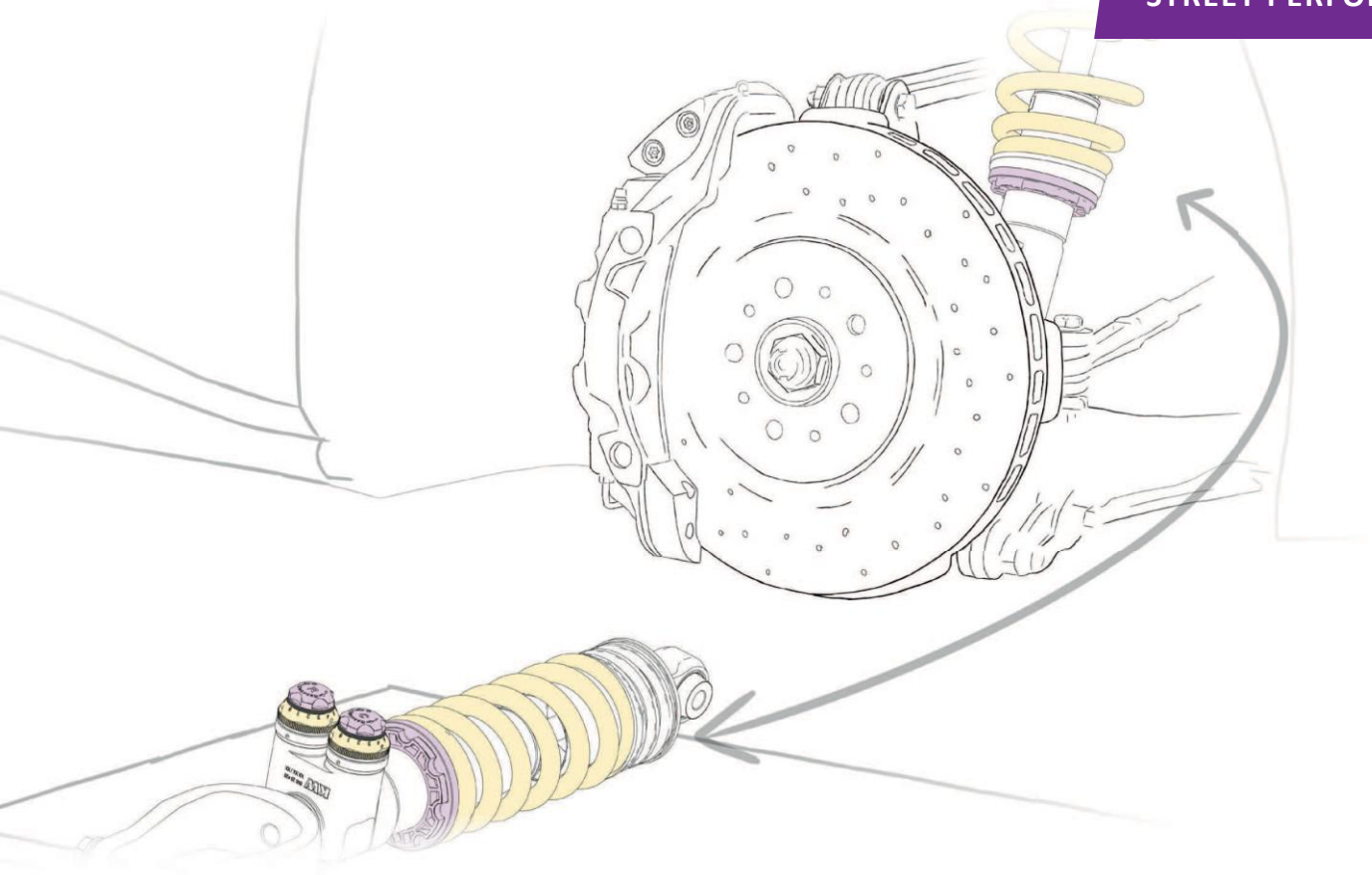
STREET PERFORMANCE



取付説明書

取り付けを開始する前に、よくお読みください。

- **製品が車両の仕様などと適合が一致していることをご確認ください。**
- **この説明書の指示を厳守して取り付けを行ってください。**

この説明書で特に規定がない箇所に関しては、すべて純正のスプリングやダンパーの取り付け取り外しに関する自動車メーカーの仕様に従って、取り付けおよび取り外しを行ってください。

危険:

重大な障害や傷害を防ぐために、各手順で常に最新の事故防止規制に従ってください。

1. サスペンションを取り付ける際は、車両リフトの使用をお勧めします。リフトが利用できず、ジャッキを使用する場合は、安全を確保するために、市販のホイールブロックとジャッキスタンドで車両を固定してください。
2. サスペンション取り付けは、適切なツールを使用する訓練を受けた技術者のみ行ってください。
3. 取り付けを試みる前に、一般的な取り付け手順と技術検査文書を必ずお読みください。
4. ショックアブソーバーの取り付けまたは取り外しに、インパクトレンチを使用しないでください。
5. ショックアブソーバーを分解したり、切り開いたりしないでください。圧力のかかったオイルが含まれていますので、爆発の危険があります。
6. 取り付け後、公道を運転する前に、7 ページの項目 11 ～ 14 の作業手順を実行してください。
7. サスペンション交換によって発生した制御のエラーは、正規ディーラーを通じてリセットや調整などする必要があります。
8. 車両側の取り付け部品（たとえば、ショックアブソーバーの取り付け部や、コントロールアームの取り付け部など）にほこりや油が付着していないことを確認してください。（メーカーのガイドラインを参照）

主な使用方法:

1. 車高を調整するときは、ねじ山がきれいでゴミがないことを確認してください。まずはスプリングシートの下側を掃除後、10mm 程度下に動かして、調整する範囲の(上または下)を清掃します。
2. ショックとスプリングが別々のシステムで車高を調整するときは、スプリングシートを車両から取り外して調整します。
3. 車高を調整した後、7 ページの手順 11 から 14 を繰り返します。
4. ダンパーのピストンロッドとシーリングの部分に、オイルとグリスが溜まっている場合があります。これは組み立て時のグリスかオイルが蓄積したために発生した可能性があります。カートリッジとロッド ガイドの組み立て時にもオイルが使用されます。その為、不具合を心配する必要はありません。

ピストンロッドナットの締め付けトルク:

M8 = **25Nm (18 ft-lb)**, M10x1 = **20Nm (15 ft-lb)**, M10x1,25 = **20Nm (15 ft-lb)**, M12x1,25 = **35Nm (26 ft-lb)**, M12x1,5 = **40Nm (29 ft-lb)**, M14x1,5 = **50Nm (37 ft-lb)**, M16x1,5 = **50Nm (37 ft-lb)**

Copyright

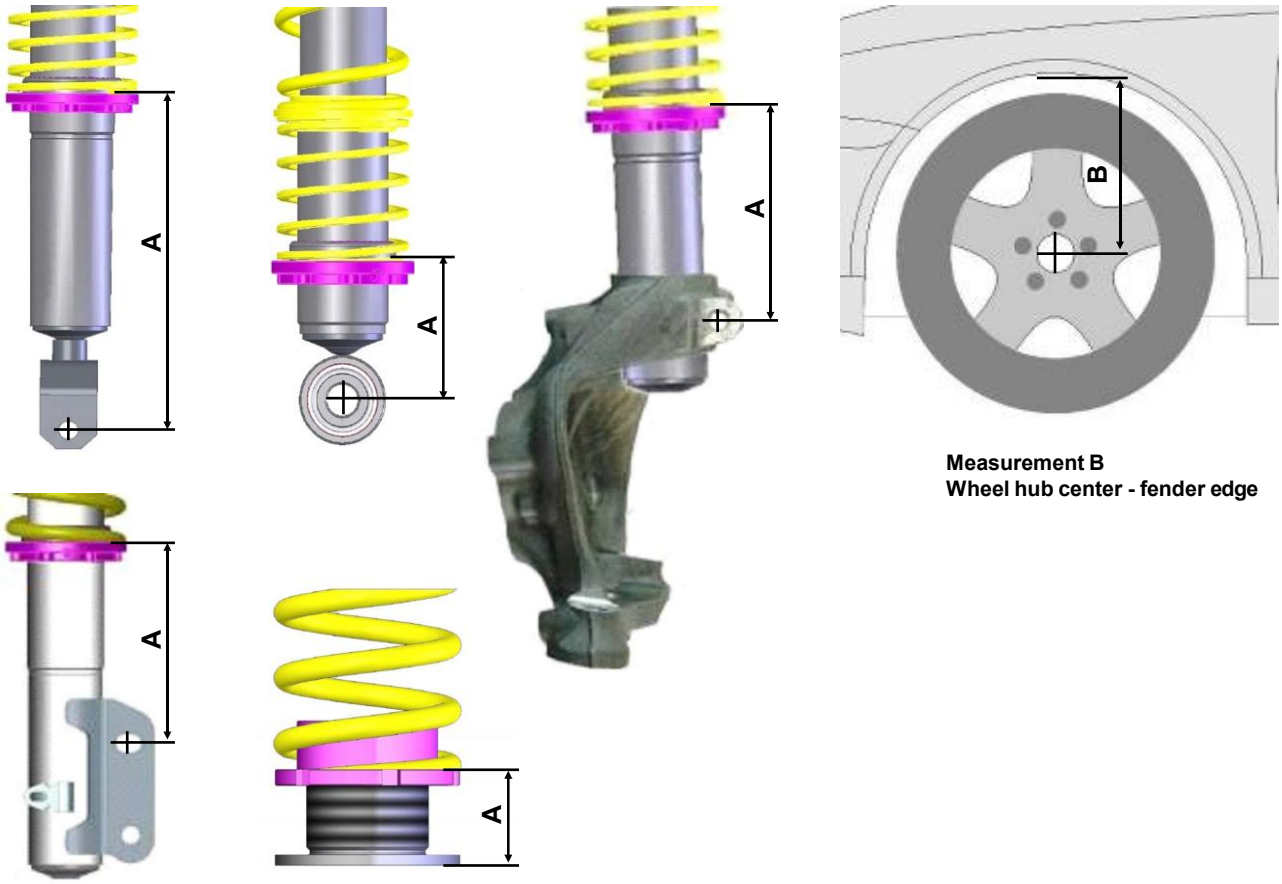
This assembly guideline is protected by copyright law. This assembly guideline is subject to a right to download and print the guideline which we grant for the purpose of the installation of products that have been purchased from us. Further reproduction is not allowed. Any devolution or sub-licensing of this copyright to a third party as well as any manipulation of the photographs is not allowed. We are entitled to cancel the granted copyright at any time. Copyright violations will be prosecuted.

主な取付方法:

1. サスペンションを取り付ける際は、リフトの使用をお勧めします。
2. 注意: 車両に車高センサーが装備されている場合は、ストラットまたはダンパーを取り外す前にセンサーを取り外す必要があります。不具合が発生する可能性があります。
3. 自動車メーカーの指示に従って取り外す必要があります。
4. 自動車メーカーの工場で取り付けられたサスペンションを取り外すには、ほとんどの場合メーカーが推奨する取り外し用ツール、または適切なスプリングコンプレッサーを使用する必要があります。
5. 次のページの説明に従って、新しいサスペンションを取り付けます。
6. 損傷が発生する可能性があるため、ピストンロッドにナットを取り付ける際にインパクトレンチを使用しないでください。ペンチなどを使用してピストン ロッドの表面を傷つけないようにしてください。わずかな損傷でもシールが損傷します。その場合、保証の対象外になります。
7. 3 ページの表に指定されている下げ幅の範囲内にとどめてください。例: 指定範囲が 20 ～ 60 mm の場合、高さ調整範囲は 40 mm です。
8. スプリングシートが動かないように、ロックネジが締められていることを確認します。ショックとスプリングの組み合わせが別々になっている車両では、ロックネジはありません。注意: ロックネジを締めすぎないでください。最大トルクは 1 ～ 2 Nm です。
9. 自動車メーカーのドキュメントで指定されているとおりに、サスペンションを車両に取り付けます。
10. 特に記載がない限り、すべてのトルク値はメーカー推奨に準ずる必要があります。
11. 取り付けが完了したら、車両を平らな地面に置きます。平らな地面に置いたら、車高を測定し、規定の下げ幅内でお客様の要件に合わせて調整します。注意: 3 ページの表にあるホイールハブセンターからフェンダーエッジの最大測定値を超えないようにしてください。また、7 ページの表に指定されている最低地上高も考慮してください (ドイツのみ有効なルール)。注意: しばらく走って馴染むと、さらに 5 - 10 mm 落ち着くのが一般的です。
12. タイヤホイールの全可動範囲にわたって、タイヤとサスペンションのクリアランスを確認します。サスペンションとタイヤの最小クリアランスは 4 mm です。このクリアランスが 5 mm 未満の場合は、ホイールスペーサーが必要になることがあります。タイヤとボディのクリアランスも確認します。注意: 実際にテスト走行を行い、ボディ、その他パーツとのクリアランスが 5mm 以上である必要があります。
13. サスペンションのジオメトリーは、自動車メーカーの規制に従って調整する必要があります。車高の違いにより基準値に到達できない場合は、自動車メーカーの許容範囲に近い最適値に調整する必要があります。
14. 車高によって制御されるもの (ヘッドライト、ブレーキ バイアス レギュレーターなど) は、自動車メーカーの指示と手順に従って調整する必要があります。
15. ESP、DSC、または EPC を備えた車両の場合、新しいサスペンションによってエラーコードなどが表示される場合があります。これは一時的なもので、車両の電子機器が新しい車高に調整されます。一部のモデルでは、約 5 ～ 8 キロ走行するか、ステアリング ホイールを左から右に完全に回すと、この状態が解消されます。またその他のモデルでは、資格のある技術者が診断機からリセットをする必要がある場合があります。

テクニカルデータ	Coilover part number …			
Vehicle model	**Toyota GR Corolla 2023+**		**max. permissible front axle load: - kg**	
	f r o n t a x l e		**r e a r a x l e**	
Spring signature	5623		10-60-80 / 60-250*	
Coilover strut / Shock absorber signature	560 1021 L / R		560 1114	
A の距離を確認してください。	min:	max:	min:	max:
Front: ボルトセンターからスプリングシート上 **Rear: アジャスターの底からスプリングシート上**	140 mm	160 mm	15 mm	30 mm
B の距離を確認してください。	min:		min:	
ホイールハブセンターからフェンダーエッジ	340 mm		340 mm	

Calculating the adjustment range (distance measurement A) : (Photos are examples only)



Measurement B
Wheel hub center - fender edge

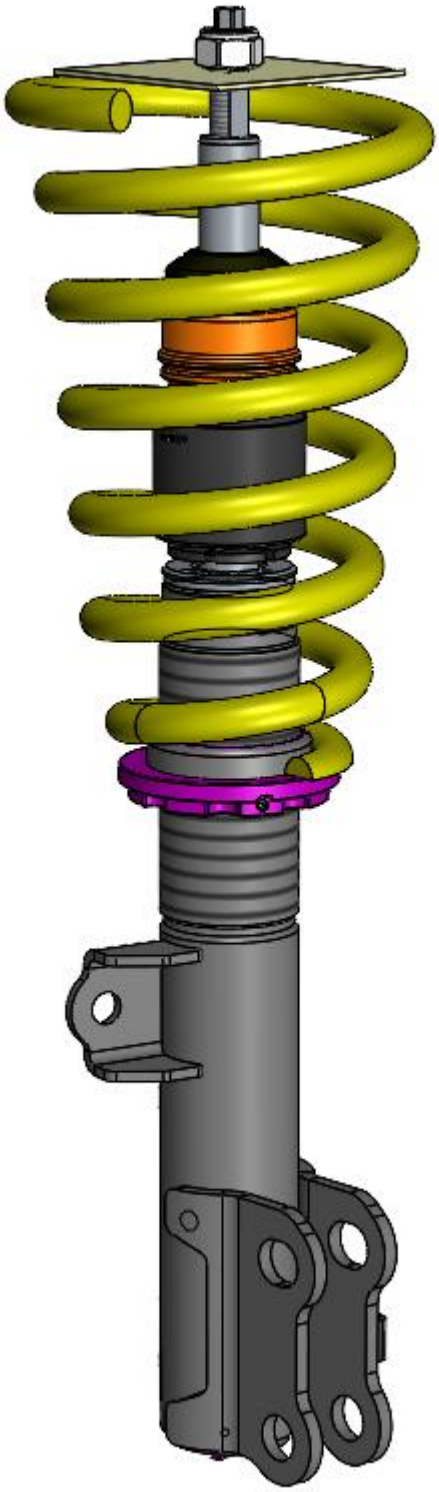
Please enter the adjusted height of the modified car into the list:

Coilover part no	Vehicle type	Measurement A		Wheel hub center - fender edge Measurement B	
		Front	Rear	Front	Rear

* **IMPORTANT:** The allowable measurement between wheel hub center and fender edge as indicated above, may not exceed these measurements when using standard fenders.

Front axle:

Supplied coilover strut.



純正トップマウント、純正ベアリング、純正スプリングサポートを使用して、付属のナットで固定します。
締め付けトルクは 50 Nm です。
純正ベアリングとスプリングの角度を合わせて固定し、スプリングトップが正面になるよう取り付けします。
ステアリングを回してサスペンションがスムーズに回ることを確認してください。
その他の取り付け方法と締め付けトルクは、自動車メーカーの指示通りに取付して下さい。

※スプリングシートを回して車高調整する際、スプリングが同時に回らないよう注意してください。
純正ベアリング破損の原因になります。



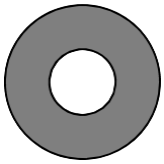
Rear axle:

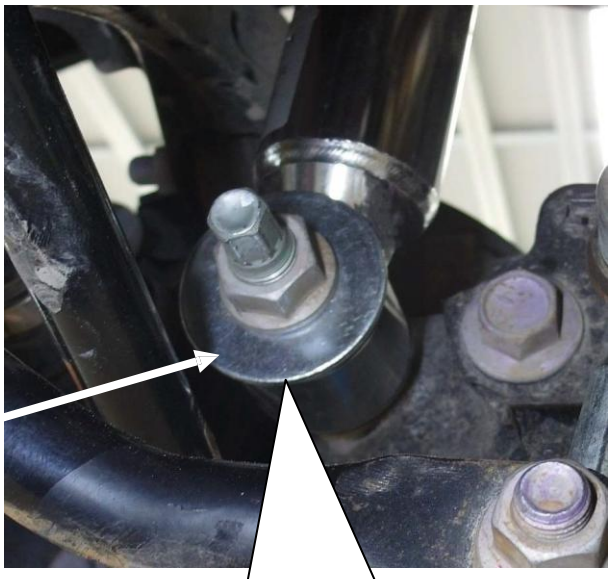
Supplied damper.



純正トップマウントを付属のナットを使用して取付します。
締め付けトルクは 20 Nm です。
その他の取り付け方法と締め付けトルクは、自動車メーカーの指示通りに取付して下さい。







ダンパー下部の取り付けは、付属のワッシャーを
ダンパーとナットの間に挟んで締め付けます。

Rear axle:

アジャスターを、スプリングとシャーシの間に取り付けます。
純正のスプリングサポートは使用しません。
取り付け後に車高調整する際は、取り外してから調整を行う必要があります。
注意：取り付けを行う前に、取り付けパーツが当たる箇所を掃除してから取り付けを行ってください。



60-250

メインスプリングとヘルパースプリングの端が重なっていないことを確認してください。
重なっていた場合は180°回転させてください。

中間リング

10-60-80

下側には付属のスプリングアダプターを使用します。

純正のスプリングサポートは使用しません。